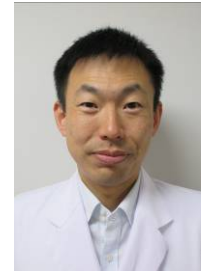


精神科専門医研修ネットワークプログラム

1 はじめに

プログラムリーダー 公益財団法人復康会 沼津中央病院 社会復帰部長 坂 晶

精神科医を志す先生には、この静岡県東部の精神科医療の良さを実感していただきたく、プログラムの紹介をします。先生の精神科医として目指すものがこれから実現できるか、その可能性は、後期研修の“場”が大きく影響を与えるでしょう。様々な専門性がある中、まずは精神科診療全般を身につけることが大切であり、個人の偏った教育ではなく、様々な先輩医師から指導を受け臨床に携わることにより、その可能性は広がると考えています。



ここ静岡県東部は、精神科医療に携わる特色のある医療機関が集まっており、連携を図っています。後期研修ののち、精神科専門医や精神保健指定医が取得できるのは、その成果の一つとなります。

精神科医として自己実現を目指す先生へ、ぜひ私たちも協力させて下さい。

2 特徴

静岡県東部のがんセンターや大学病院、一般病院の精神科、精神科病院が連携し、お互いの特徴を活かした研修ができるようになっていきます。地方の一施設だけではなかなかクリアできない専門医合格のための実務経験が、いくつかの施設を回ることにより短期間で経験できます。

- ・精神科救急
- ・専門性：一般精神障害のほか、児童思春期症例・摂食障害・発達障害・認知症・依存症など
- ・精神科リハビリテーション
- ・精神科地域医療
- ・精神科コンサルテーション・リエゾン
- ・大学との連携

また、静岡県東部は富士・箱根・伊豆に近く、自然豊かで海、山、温泉あり、料理もおいしく、よく学びよく遊ぶには絶好の環境だと思います。東京からは新幹線で1時間のアクセスが可能です。地元出身者以外の方も大歓迎です。是非このプログラムに参加し、精神科医への第一歩を踏み出してください。

3 目的

静岡県東部に構える病院の特徴や専門性を生かし、病院間をローテートすることで、精神科としての知識・技能を高め、精神保健指定医や精神科専門医資格等取得のための準備を効果的・効率的に進めることを目的としています。

4 目標

下記の2資格の取得を目標としています。

- ・ 日本精神神経学会が認定する「精神科専門医」資格の取得
(申請には、初期研修を除く、日本精神神経学会への入会后3年以上の精神科研修が必要です)
- ・ 精神保健福祉法に定められた国家資格である「精神保健指定医」の取得
(申請には、初期研修を除く、3年以上の精神科研修が必要です)

5 研修カリキュラム

日本精神神経学会の精神科専門医制度で求められる履修内容(研修ガイドライン)に準じる。

6 研修例

下記の例を参考に個別の相談に応じ、自由に組み合わせることができます。

【例】

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
1年目	沼津中央病院・国際医療福祉大学熱海病院・順天堂大学医学部附属静岡病院 等											
	精神科医療の基本を習得											

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
2年目	沼津中央病院・国際医療福祉大学熱海病院・順天堂大学医学部附属静岡病院 等											
	精神科医療の基本を習得											

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
3年目	鷹岡病院、聖明病院、NTT 東日本伊豆病院、静岡がんセンター等											
	専門領域の研修						専門領域の研修					

7 研修病院群

認定施設・関連施設

順天堂大学医学部附属静岡病院の特徴

精神科指導医 1名(日本精神神経学会 精神科専門医制度研修施設)

順天堂静岡病院メンタルクリニック(精神神経科)は、社団法人日本精神神経学会 精神科専門医制度研修施設に認定されています。当院では、外来診療に加え、一般身体科入患者の中から精神科的治療が必要な患者をコンサルテーションリエゾンの対象として診療しています。外来患者は増加傾向にあり、一日平均60人前後の患者(内、新患5人程度)を診察しています。病院が第三次救急病院であることより、合併症や自殺企図患者が搬送されることが多く、コンサルテーションリエゾンでは身体科と併診している患者は常に20-30人います。精神科病棟での入院治療が必要な場合は、協力病院である沼津中央病院などの近隣の精神科病院と連携を図っています。現在常勤医は2名から増員を予定しています。

当院の特徴として、児童思春期症例・摂食障害・発達障害・認知症などの一般の精神科施設では診療困難な症例を積極的に引き受けることにより、静岡県内の精神科医療の牽引車の役割を果たすようになりました。特に児童思春期症例に関しては、静岡県東部地区の教育機関より当院を指定してくる症例が多くあります。またうつ病・認知症の患者数は県内一で、外来の売り上げも県内一を維持しています。

外来においては一定期間の陪席研修の後、外来医として独立して診療します。コンサルテーションリエゾンにおいては、指導医の下で主治医として診療します。また第三次救急ユニットにおいて精神科救急医療にも携わります。脳波判読、画像診断などのトレーニングも受けます。また精神保健指定のケースを取得するため、一定期間の一般精神科病棟における入院患者の診療が必要ですが、協力病院である沼津中央病院または順天堂越谷病院で研修します。各人の志向により一般精神科病院での研修期間を延長することも出来ます。また順天堂大学の他の分院（順天堂医院、順天堂浦安病院、順天堂高齢者医療センター、順天堂練馬病院など）での研修も可能です。また研究を開始したい場合は、順天堂大学精神医学教室と連携し、分子生物学、ニューロイメージング、精神病理学、精神生理学、精神薬理学などの分野において研究することが出来ます。

近年、精神科医療は、ノーマライゼーション、または脱入院化が世界的な流れであり、今後外来診療が精神科の中核をなすものと考えられる。また医療の高度化にともない、特に総合病院における精神科医療のニーズはますます高まると考えられます。当病院における精神科後期研修においては、外来診療において幅広い精神科疾患の治療を経験することによって一般精神科医としての能力の向上を目指します。またコンサルテーションリエゾンにおいて、身体疾患との合併症患者を多く経験することにより、精神症状と身体症状を包括的に診療できる精神科医になることを目指します。また精神保健指定医、日本精神神経学会認定医の取得は最低限の目標とし、希望者は研究を開始し学位取得までの方向性を決めることも目標にできます。

沼津中央病院の特徴

精神科指導医 8 名、精神科専門医 9 名（日本精神神経学会 精神科専門医制度研修施設）

八十数年の歴史を持つ沼津中央病院は、静岡県精神科救急医療対策事業実施に伴う静岡県東部基幹病院です。超急性期治療の後、次の病院へ転院するといった後方移送を行わず、利用者の「困りました」から情報インター初期治療－入院治療－外来－地域ケアとケースマネジメントといったリカバリの流れを一貫して行っています。この富士の麓、沼津中央病院で、精神科臨床医にとっては有意義で、必要な要素が包括的に行える臨床研修を受けてはみませんか？

「地域ケア」

利用者が“その人らしく”生活が営めるように、看護師や相談員（精神保健福祉士）の訪問を昭和40年代から、また積極的な通院医療を展開するため昭和41年からサテライトクリニックを開設しています。回復、社会復帰過程の促進、心身の機能の再獲得・再学習、再発や障害の進行の予防のため、通院作業療法を昭和58年から実施、平成2年からはデイケア、ナイトケアを開設しています。

「リカバリ」「ストレングスモデル」の考え方のもと、利用者、看護師、精神保健福祉士、作業療法士、精神科医師、薬剤師、管理栄養士など、あらゆる職種をメンバーとしたチームを結成し、メンバーが地域へ飛び出し、地域でその人らしい生活ができるように、職種の専門性を超え、生活を包括的に支援していくサポート体制を作り上げ実行しています。そんなチームの一員になってみませんか？

「スーパー救急（精神科救急入院料算定病棟）」

急性期治療をすばやく的確に行い、治療効果を向上させ、早期退院を可能し、地域生活が再び営めるように、地域医療を支える手段として、高いマンパワーと個室を重視した「スーパー救急病棟」（救急入院料算定病棟）を平成15年に整え、平成19年に60床へ増床しました。スーパー救急病棟では、指定医9名（病棟専属2名）が後期研修医5名の指導を行っています。ほか薬剤師、精神保健福祉士

が常駐し、いつでもケースカンファレンスがおこなわれ、利用者一人一人にきめ細やかな治療と支援を施すことができます。そんな急性期医療のエキスパートになってみませんか？

「臨床研修医制度における協力型病院」

毎年、順天堂大学医学部附属静岡病院、静岡医療センター、伊東市立市民病院、沼津市立病院、国際医療福祉大学熱海病院から初期臨床研修医を受け入れています。初期臨床研修医が指導医（精神保健指定医）と後期研修医と研修グループを組み、屋根瓦式の指導體制を敷いてお互いの研鑽を図っています。将来の精神科医を一緒に育ててみませんか？

聖明病院の特徴

精神科指導医 1 名（日本精神神経学会 精神科専門医制度研修施設）

聖明病院は、富士山の一合目の丘陵地に位置しています。182 床全てが依存症治療のための病床です。覚せい剤や危険ドラッグ、アルコールに対する依存の問題は、重大な社会問題になっています。静岡県のみならず、山梨県や神奈川県のお客様も治療しています。地域の断酒会、AA、ダルクなどと連携をとって治療を行っています。

静岡がんセンターの特徴

精神科指導医 1 名、精神科専門医 1 名（日本精神神経学会 精神科専門医制度研修施設）

静岡がんセンターは、最善のがん医療を提供し、積極的ながん対策を推進するため、平成 14 年に設置され、病院、研究所、総合がん対策・患者家族支援を担う疾病管理センターの三部門から成り立っています。恵まれた施設環境のもと、がんセンターとして日本でトップクラスの臨床・研究の実績を積んでおり、中部地方において、大学付属病院以外では唯一の特定機能病院に指定されています。多くのレジデントが在籍し、がん医療全般についてさまざまな研修会が開催されるなど、研修体制も充実しています。さらに慶應義塾大学と事業連携協定を締結し、レジデント・常勤医は勤務を継続しながら慶應義塾大学大学院医学研究科博士課程に入学し、学位を取得できる制度も始まっています。

静岡がんセンター腫瘍精神科は、コンサルテーション・リエゾンを基本とし、院内他科と連携を取りながら、がん患者の精神面のサポートを行っています。特に緩和医療については、緩和ケアチームに所属し、多職種スタッフと協働で診療にあたっています。

具体的には、うつ病などの精神疾患への対応のみならず、がん医療にともなう生じる多様な心理的問題すべてに対応しており、多職種スタッフとの密接な連携のもと、ダイナミックに活動を行っています。そこでは、精神科医としての活動の前提として、病院スタッフの一員としての自覚と力量が問われ、他科や相談部門との関係の築き方を含め、本当のチーム医療を学ぶことができます。

精神科専門医を目指している先生にとって、一般精神科医療機関での研修と併せてこのような環境で一定の研修を積むことは、医師としての視野を広げる意味合いにおいて、とても貴重な機会になると考えています。

鷹岡病院

精神科指導医 6 名、精神科専門医 6 名（日本精神神経学会 精神科専門医制度研修施設）

当院の研修の特徴は、「精神科救急医療施設としての救急医療、急性期治療」、「外来、クリニック診療」、「社会復帰事業の研修」、「精神保健指定医の取得に向けた指導」、「日本精神神経学会精神科専門医、日本老年精神医学会専門医の取得に向けた指導」です。

静岡県東部地区富士圏内における精神科救急基幹病院としてスーパー救急病棟を有する他、精神科療養病棟、認知症治療病棟を有し、患者様の社会復帰をめざしたデイケア、訪問看護も設置しており、さらに外来診療に加えサテライトクリニックも開設しているため、精神科臨床に必要な環境は十分整っています。

措置症例もあり、救急対応から急性期、慢性期と豊富な症例に立ち会うことができ、精神保健指定医や日本精神神経学会認定専門医の資格取得をめざせます。また認知症治療病棟での研修もあるため、老年精神学会認定専門医の資格取得にも有利です。

院外ではサテライトクリニックで地域精神科外来の研修をすることもできます。むろん学会などにも積極的に参加していただきます。

日本医療機能評価機構の認定病院であり、整った環境の中で安心して研鑽を積んでいただけます。

スーパー救急や認知症治療など4つの病棟での診療及び精神科救急基幹病院としての救急医療、富士駅前にあるサテライトクリニックでの外来診療など様々な医療を展開しています。

このような充実した診療内容により、コメディカルと共に個々のケースにおけるQOL (Quality of Life) の向上を十分に検討することができ、医師としてのスキルアップを図るだけでなく、精神保健指定医、精神科専門医、老年精神医学会専門医の資格取得に必要な症例を数多く確保できます。

NTT 東日本伊豆病院（日本精神神経学会 精神科専門医制度研修施設）

NTT 東日本伊豆病院リハビリテーション精神科は静岡県東部で唯一の有床一般病院精神科です。一般病院精神科としての特徴ある臨床活動に加え、多の診療科とのリエゾン活動や、多職種で連携して患者様を支えていく取り組みを経験し、学ぶことが出来ます。また、当院は静岡県ではじめて、平成22年10月に認知症疾患医療センターの指定を受けました。言うまでも無く認知症への取り組みは精神科領域にとどまらず、地域社会全体にとって大きな課題です。この領域でも地域の社会資源の活用や様々な職種の方々との連携を経験して頂きます。

近年ますます精神科医療は市民生活にとっての重要性を増しています。その中で、よりアクセシビリティに優れ、生活圏との連続性の高い総合病院系での精神科臨床は、精神科医の研修の中で重要な位置にあると考えています。ぜひ志を持って、挑戦して頂きたいと思います。

<病院の概要>

当院は伊豆半島の入り口、函南町に11万㎡の広大な、そして緑にあふれた敷地の中に、回廊式の廊下で繋がった4つの病棟と外来部門がゆったりとした構造で作られています。平成11年に外科系を廃止し、予防医学・リハビリテーションに重点を置いた医療を行ってきました。現在入院病床は196、そのうち一般病床50、回復期リハビリテーション病棟100、そして精神病床が46となっています。

現在精神科以外の診療科は内科・リハビリテーション科・整形外科・皮膚科・歯科・放射線科、そして健診部門となっています。特にリハビリテーション科では回復期リハビリテーション病棟を2病棟、計100床を有し、これに対応して100名を超す療法士を擁し、県内でも先進的なリハビリテーションに取り組んでいます。これにより、内科はじめ他の診療科でも必要な症例では入院と同時にリハビリテーションを提供して廃用予防・早期退院を図るなど、地域密着型の診療を行っています。また在宅支援部門として通所リハや訪問リハ・訪問介護などを行っています。

<リハビリテーション精神科の臨床>

『リハビリテーション精神科』という名称は、当院のリハビリテーション科との連携を重視するところから作られたいわゆる院内呼称ですが、約 40 年前の診療科発足当時の理念であった社会復帰・社会参加を重視する姿勢を表すものとして現在も用いています。

現在のスタッフは常勤医師 3 名(指定医・専門医)、非常勤医 2 名、精神科作業療法士 1 名、精神保健福祉士 2 名、臨床心理士 2 名、また身障リハスタッフも専任で複数名がチームを組んでいます。また病棟は精神科看護 13:1 で運用しています。

一般病院の有床精神科として、臨床の特徴としてはやや統合失調症の症例が少なく、気分障害圏・神経症性障害圏の患者さんが多い経口にあります。また上記のように認知症疾患医療センターを運営していることから、認知症症例についても多く経験を積むことが出来ます。

現在外来患者数はデイケアを含めて 1 日約 75 人前後です。新患については再来とは別枠とし、十分に状態の把握・診断を行えるよう配慮しています。精神科デイケアは平成 8 年に開設し、様々な利用者のニーズに応えるべく、運営の工夫を行っています。上記のように統合失調症のケースが多くは無いことから、より個別性を重視した取り組みを継続しているところです。またデイケアとは別に外来患者にも作業療法を提供し、その特性に合わせて選択をしています。

病棟は全開放で 46 床、そのうち個室が 15 床と個室比率を高くしていますが、やはり個別性が重視される状況が多く、個室の利用率が高くなっています。平均在院日数はおおむね 60 日前後と比較的短期での入院治療が行えています。

当院の特徴として、上記のようにリハビリテーションのマンパワーが活用できる状況にあることから、以前よりリハビリを必要とする合併症を有する患者を積極的に受け入れてきました。そのためカンファレンスを充実させるなど、多職種での連携・協働を通じ、広く症例の全体像を把握し、また身体的側面の評価についても学んでいくことが出来ます。このことは認知症の臨床についても同様で、認知症疾患医療センターを運営していることから多彩な症例を経験し、BPSD への対応や社会資源の活用など、外来・入院を通じて関与することが出来ます。

また当科の入院患者に多い気分障害・神経症性障害圏の症例に対しては、臨床心理士・作業療法士・看護師と協働し、精神療法的な関与を習得することが出来ます。また症例数は多くはありませんが、摂食障害や児童思春期症例についての経験も可能です。

<リエゾン活動について>

内科系一般病棟・回復期リハビリテーション病棟で生じる精神医学的問題は多岐にわたりますが、なるべく早期に介入することにより問題の長期化・深刻化を防ぐことが出来ます。地域社会の高齢化を反映して入院患者も高齢者が多数を占めていることから、せん妄への対応が重要ではありますが、その他にも疾病受容のプロセスから抑うつ状態を呈する方や困惑状態に陥る方、また高次脳機能障害から社会復帰に難渋する方など、コンサルテーション・リエゾンへのニーズは高く、多くの経験を積むことが出来ます。

国際医療福祉大学熱海病院 (日本精神神経学会 精神科専門医制度研修施設)

8 病院群の実績（症例、平成 26 年 1 月～12 月末の累計）

（1）一日当たり外来数

病院名		沼津中央病院	鷹岡病院	聖明病院	熱海病院※ 国際医療福祉大	がんセンター 静岡	静岡病院（年計） 順天堂附属※
外来数／日		99.1	96.5	8	42	2.2	（年計）
疾患別 （再掲）	統合失調症	69.3	31.9	-	5	-	59
	気分障害	14.4	27.6	-	8	-	270
	精神作用物質	0.9	1.2	8	1	-	-
	症状性・器質性	1.7	1.0	-	2	-	335
	児童精神	4.4	0.9	-	0	-	98
	神経症	5.9	15.6	-	10	-	402
	人格障害	0.2	0.9	-	3	-	-
	認知症	0.2	9.0	-	8	-	-
その他	6.6	9.0	-	5	-	551	

（2）年間入院件数

病院名		沼津中央病院	鷹岡病院※	聖明病院	熱海病院※ 国際医療福祉大
入院件数／年		523	305	379	15
疾患別 （再掲）	統合失調症	339	90	-	3
	気分障害	112	90	-	10
	精神作用物質	13	14	379	-
	症状性・器質性	11	8	-	-
	児童精神	(25)	3	-	-
	神経症	31	20	-	-
	人格障害	1	4	-	-
	認知症	9	62	-	2
	その他	7	14	-	-
入院形態別	任意入院	61	53	269	-
	医療保護入院	404	229	110	-
	措置入院他	58	23	0	-

(3) 体制・設備等

病院名		静岡病院 順天堂附属	沼津中央病院	鷹岡病院	聖明病院	熱海病院 国際医療福祉大	がんセンター 静岡
精神科救急		—	実施	実施	—	—	—
コンサルテーション・リエゾン		実施	—	—	—	18.7件/日	2.5件/日
作業療法・ケア		—	実施	実施	実施	—	—
装置	脳波計	有	有	有	有	有	有
	CT、MRI	有	有 (CT)	有 (CT)	—	有	有
社会復帰等施設		—	有	有	—	—	—
i 救急入院病床		—	60床	34床	—	—	—
ii 急性期治療病床		—	—	—	—	—	—
iii 精神科一般病床		—	117床	—	182床	—	—
iv 精神科療養病床		—	109床	100床	—	—	—
A 開放病床		—	—	—	90床	—	—
B 閉鎖病床		—	286床	184床	92床	—	—
専門 病床	認知症専門	—	—	50床	—	—	—
	アルコール専門	—	—	—	140床	—	—

※は、前年の実績

9 研修期間

3年間

10 プログラム参加者の要件

初期臨床研修を修了していること。

11 処遇

- 1) 身分
- 2) 給与
- 3) 健康保険等の福利厚生制度
- 4) 医師賠償責任保険
- 5) 休日等
- 6) 宿舎
- 7) 学会費用

原則として、研修する病院の規定に従う。

12 プログラム修了後の進路

- 1) 病院群への就職の機会を優先的に得られる
- 2) 関連する大学医局への入局へ推薦することが可能

13 プログラム運営委員（◎：プログラムリーダー）

◎沼津中央病院 社会復帰部長 坂 晶(1996年 山梨大学医学部卒)

主な資格：日本精神神経学会専門医・指導医、精神保健指定医、精神保健判定医

主な所属学会：日本精神神経学会、日本精神科救急学会

御殿場市出身です。平成12年から沼津中央病院に勤務し、富士を眺めながら、精神科医療に携わる生活を満喫しています。温かい先輩医師に囲まれ、現在は地域精神科医療に興味をもって取り組んでいます。

聖明病院 副院長 関澤隆弘(1999年 浜松医科大学卒)

主な資格：日本精神神経学会専門医・指導医、精神保健指定医

主な所属学会：日本精神神経学会

静岡県磐田市出身です。卒後、浜松医科大学精神科に入局しました。平成20年から現在の病院に勤務しています。静岡県東部は、温暖な気候であり、富士山、伊豆、箱根など観光地やレジャー施設も豊富にあり、住む場所としても気に入っています。静岡県東部には特色のある精神科が多く、地域の中で連携をとっていくことにやりがいも感じています。

順天堂大学医学部附属静岡病院 前任准教授 桐野 衛二

主な資格：日本精神神経学会専門医・指導医、精神保健指定医

主な所属学会：日本精神神経学会

鷹岡病院 診療部長 大槻 正樹 (1995年 横浜市立大学卒)

主な資格：日本精神神経学会専門医、精神保健指定医

主な所属学会：日本精神神経学会

神奈川県出身です。横浜市立大学精神科に入局し、平成22年から鷹岡病院に勤務しています。これまで神奈川県と静岡県で精神科救急や依存症治療に従事してきました。現在は良いスタッフに恵まれ、助けられながら、精神科救急病棟を中心に診療をしています。

NTT東日本伊豆病院 精神科部長 安田 秀 (1984年 信州大学医学部卒)

主な資格：日本精神神経学会専門医・指導医、精神保健指定医

主な所属学会：日本精神神経学会

国際医療福祉大学熱海病院 国際医療福祉大学教授 鈴木 映二

(長崎大学医学部、慶應義塾大学院卒)

主な資格：日本精神神経学会専門医・指導医、精神保健指定医、精神保健判定医

主な所属学会：日本精神神経学会

静岡がんセンター 腫瘍精神科部長 松本 晃明 (1990年 浜松医科大学医学部卒)

主な資格：日本精神神経学会専門医、精神保健指定医

主な所属学会：日本精神神経学会